つ　つなげよう未来へ！
し　市民協働による
ま　まちづくり

つしまチカラ
Power Of Tsushima

平成２９年度

組　織　目　標

～「協働型市政の確立」を目指して～

長崎県対馬市

… アジアに発信する歴史海道都市　対馬 …

～　目　　次　～

Ⅰ　組織目標（概要版）　・・・・・・・・・　1

Ⅱ　組織目標（個票）　・・・・・・・・・　7

1　総務部　・・・・・・・・・　7

2　しまづくり推進部　・・・・・・・・・　9

3　観光交流商工部　・・・・・・・・・　１９

4　市民生活部　・・・・・・・・・　２４

5　福祉保険部　・・・・・・・・・　３０

6　健康づくり推進部　・・・・・・・・・　３２

7　農林水産部　・・・・・・・・・　３５

8　建設部　・・・・・・・・・　４３

9　水道局（部）　・・・・・・・・・　４５

１０　中対馬振興部　・・・・・・・・・　４７

１１　上対馬振興部　・・・・・・・・・　５１

１２　消防本部　・・・・・・・・・　５８

１３　教育委員会事務局　・・・・・・・・・　６１

平成２９年度　対馬市組織目標（概要版）

１　総務部

①　健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表を行います。

市の財政状況や予算・決算などについて、市報・ホームページにわかりやすい形で掲載し、市の財政状況に関する市民の理解を深められるように努めます。

②　入札・契約の適正化に努めます。

常に入札契約制度の検証を行い、公正性の確保・客観性・透明性の向上に努めるとともに、現下の経済情勢を考慮し、国・県の動向と歩調を合わせ、適正な落札率となるよう運用を図ります。また、入札参加資格者申請や業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めるよう努めます。

２　しまづくり推進部

①　第２次対馬市総合計画の進捗管理を行います。

第2次対馬市総合計画を推進するため、外部委員で組織する総合計画審議会において、各施策の進捗状況や目標の達成状況、事業内容について検証します。

②　対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理及び必要に応じた見直しを実施します。

「対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる各種施策の進捗状況及び重要業績評価指数（KPI）を管理するとともに、新たなニーズや社会情勢の変化に応じ、総合戦略の見直しを行います。

③　対馬市景観計画の策定を進めます。

対馬市景観計画の策定に向け、景観に関する現況調査を実施するとともに、外部委員を含めた景観計画策定委員会での協議を進め、景観形成に向けた課題整理及び景観計画の策定を行います。

④　対馬市主要施策にかかるプロジェクト会議を設置します。

地域循環システムの発展的改編に伴い、今後の対馬市振興のために複数部局が連携して取り組みを進めるべき施策を抽出し、「対馬市振興プロジェクト会議」として設置し、検討を進めます。

⑤　様々な機関や業種が連携して産業の振興を目指します。

事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業を希望する方を多方面から総合的に支援し、産業振興と雇用の増加により地域の活性化を目指します。

⑥　小規模水素ステーション及び燃料電池自動車の導入を促進します。

水素社会を見据え、また、島内資源で製造が可能な水素の利活用を推進するため、小規模水素ステーション及び燃料電池自動車の先進的な導入を図ります。

⑦　木質バイオマスボイラーの整備促進を図ります。

島内のエネルギー資源活用及び低炭素社会化を図るため、公共施設に木質バイオマスボイラーを整備します。

⑧　国際航路に国内旅客を混乗させる取組を進めます。

福岡市と釜山市を結ぶ国際航路船に対馬北部からの国内旅客を混乗させる取組を進め、市民の利便性の向上と福祉の充実を図ります。

⑨　地域主導のまちづくりの強化・推進のため、地域マネージャー制度を見直します。

職員数の減少に伴う業務量の増加や地域課題の多様化・複雑化などを背景に、制度が掲げた役割を果たすことができていない地域も見受けられるため、地域や従事する職員の実情を考慮し、環境変化に対応できる制度への見直しを図ります。

⑩　Ｕ・Ｉターン推進事業を実施します。

対馬市への移住を促進するため、ワンストップ窓口の設置、補助金の交付、移住・定住促進住宅の運用などの各種施策を実施するとともに、各種移住相談会への参加などの情報発信を行います。

３　観光交流商工部

①　魅力ある観光情報システムづくりを目指します。

観光案内・誘導板の設置により、観光情報提供機能の強化を図るとともに、観光資源までのスムーズな誘導を促し満足度の向上を図ります。

②　地場産品の更なる消費拡大に取り組みます。

物産展等の継続開催や出展はもとより、「よりあい処つしま」を活用した定期的な対馬フェアの開催、商品づくりの勉強会等を開催し、特産品の販路拡大や対馬産品取扱店舗拡大に取り組みます。

③　新規参入事業者の誘致と既存事業者への支援による商工業の活性化を図ります。

伸び続ける外国人観光客数や大型ホテルの建設など、商工業においては好機と捉え、店舗の顧客満足度の向上や事業継承の推進を図るため、市内事業者への設備投資を促進し、商工業の振興を図ります。

④　国際交流イベントや朝鮮通信使行列のユネスコ記憶遺産登録を活用した交流人口の拡大を図ります。

国際交流イベントやユネスコ記憶遺産登録関連イベント等の開催により、国内外へ対馬をアピールし、交流人口の拡大を図ります。

⑤　対馬固有の遺跡や文化財の保存・活用を図ります。

対馬博物館（仮称）施設の整備推進を行います。また、対馬博物館（仮称）の開館を見据え、博物館の魅力を市内外へ発信します。

４　市民生活部

①　窓口コンシェルジュ化、親切な窓口づくり、証明書交付事務の適正化と効率化に努めます。

市役所の全体業務を把握し、来訪者への適切な説明案内に努め、窓口コンシェルジュ化を推進します。また、各窓口センター及び郵便局の証明書等交付事務について、事務の現状把握を行い、迅速な処理と正確な事務を確保します。さらに番号制度導について市民への周知を行い、窓口での適切な対応を行います。

②　滞納処分の強化を図ります。

厳正な滞納処分を実施するため、積極的に財産調査、預貯金調査、生命保険等の調査を行い、差押えの実施および滞納処分の停止等滞納整理の充実を図ります。また、新規滞納者への早期接触を図り、滞納の解消に努めます。

③　各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションを推進します。

生ごみ等資源の再利用システム事業に取り組むとともに、生ごみ堆肥化の活動を行う各種団体を支援します。

④　漂流・漂着ごみの回収と発生抑制対策を推進します。

漂着物被害が著しい海岸を中心に、海岸漂着物の円滑な処理を進めていきます。また、海岸漂着物等の発生抑制のための関係者間の連携・交流等を目的とした環境学習を広く開催します。

４－１　美津島行政サービスセンター

①　市民ニーズの高度・多様化に応じた体制づくりの強化を図ります。

複雑多様化する市民ニーズに応え、市民満足度の向上を図るため、職員一人ひとりの資質を高めることにより、親切丁寧な窓口サービスを実現します。

②　各種収納率の向上と徴収の徹底に努めます。

健全な財政運営を確保するため、公平・公正な収納業務を推進し、財源の根幹である各収入の確保を図ります。

５　福祉保険部

①　高齢者・障がい者の生きがいを創出します。

高齢者福祉サービスにおいては、在宅の高齢者が自立した生活を安心して送れるよう、環境整備と生活支援の推進を図ります。また、障がい者福祉サービスにおいては、障害のある方が安心して生活を営むことができるよう、各種サービスの充実を図ります。

②　入所保留（待機）児童の解消を図ります。

施設の面積要件を満たす保育士の人員を確保し、入所保留（待機）児童の解消を図り、子育てしやすい環境を整備します。

６　健康づくり推進部

①　市民健診の受診率向上に努めます。

対馬市特定健診・保健指導プログラムに基づき、特定健診受診率の向上を図ることで健康への意識付けを行い、健康寿命の延伸につなげます。

②　「第２次健康つしま２１計画」を策定します。

対馬市民に応じた健康増進支援のための施策や事業の根拠となる「健康つしま21計画」が、平成29年度で最終年度となるため、平成30年度からの「第2次健康つしま21計画」を策定します。

③　介護予防自主活動の継続と拡大を図ります。

昨年度から始まった介護予防自主活動助成制度について、昨年度利用団体の継続利用を主眼に置き、新たな利用も拡大していきます。

７　農林水産部

①　對馬椎茸“やる倍”ナバダス計画総合対策支援事業を実施します。

「對島椎茸“やる倍”ナバダス計画」に基づき、大型生産団地導入支援、種駒補助、販路拡大流通体制構築支援を実施し、計画的にしいたけ生産振興策を推進します。

②　市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業を実施します。

市有林及び分収林の森林整備を推進し、市有林間伐による二酸化炭素吸収量のクレジット化と販売促進を行うとともに、森・川・里・海環境保全再生基金については、民有林を含め、森林整備促進のため、また、森林づくり基本計画及び伐採ガイドラインの実行施策への財源として活用します。

③　対馬猪鹿活用促進事業を実施します。

防護柵の位置情報、捕獲情報等の有害鳥獣対策の現状を地域住民にフィードバックするための学習会を実施し、被害対策についての正確な情報提供に努めます。また、市民が有害鳥獣対策に関わるきっかけをポジティブなイメージにするため、普及啓発活動を実施します。

④　学校給食地場農林水産物導入事業を実施します。

学校給食での食材供給について、特産・奨励品である椎茸、あか牛、野菜及び水産物購入への支援を行います。また、学校給食に、たまねぎ・じゃがいも・にんじんを安定供給するための事業を試験的に実施します。

⑤　対馬の農林水産業担い手・「林業女子」育成及び「人財」発掘事業を実施します。

農林産業分野の事業者、漁協等の団体、市が一体となって新規就労のための移住相談会への参加及び合同面談会を開催し、就業意向者と事業者側のマッチングの機会及び新規参入者向けの説明会などを実施します。

⑥　水産物の輸送費補助を実施します。

水産物を島外へ出荷する際の輸送コストに係る経費を財政的に支援することで、漁業者の所得安定及び減少に歯止めをかけ、漁業の発展につなげます。

⑦　「海洋保護区」の設定を目指します。

水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るために「海洋保護区」の設定を目指します。科学委員会からの答申や漁業者、関係団体等からの意見を検討し、区域の設定や区域内の資源管理計画を策定して、国や県などに働きかけ、対馬らしい海洋保護区の設定を目指します。

⑧　基盤整備工事の早期発注、早期完成に努めます。

農林道整備、漁港漁場整備等は、第一次産業の基盤整備として市民生活の利便性向上を目的とするものであり、計画的な発注を行い年内の委託業務完了及び工事の執行100%を目指します。

8　建設部

①　市営住宅使用料未収金の縮小に努めます。

市営住宅使用料について、受益負担の原則、負担の公平性の観点から、文書による督促事務や長期滞納者に対する文書による確約等を締結しての分納指導、また、確約不履行等の悪質滞納者には、裁判所による明け渡し命令等の法的手続きを取るなど、未収金の縮小に努めます。

②　公共工事の早期発注・早期完成に努めます。

公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し市民生活の活性化とともに、早期完成によって市民の生活基盤の底上げを図ります。

9　水道局（部）

①　水道料金の収納率向上に努めます。

水道料金の収納率向上は、経営の効率化と安定化のためには喫緊の課題であり、新規滞納者の減少、納付確約（分納）者の取り組み強化、給水停止措置の強化に取り組みます。

②　水道事業の有収率向上に努めます。

浄水場で作られた水の3割以上が漏水している現状にあることから、水道事業の経営安定化を図るために、年次的に配水管等の漏水対策を実施し、有収率の向上に努めます。

10　中対馬振興部

①　中対馬未来づくりアクションプランを策定します。

中対馬地区を今後の対馬の発展における重要な地区と位置づけ、様々な分野において好循環をもたらす環境整備を行うため、環境整備を基軸とした総合計画を策定します。

②　適正な窓口業務、管轄地区内の環境美化に努めます。

窓口業務における市民満足度の向上を図るため、来庁者が相談しやすい職場（窓口）環境づくり、苦情件数「ゼロ」を目指します。また、管内における環境整備のため、不法投棄防止の啓発及びごみ分別の徹底に努めます。

③　税・水道料金の納付促進に努めます。

税・水道料金の納付について、納税相談、誓約の履行、時間外徴収等を実施することにより、税の徴収率並びに水道料金徴収率の向上に努めます。

10-1　峰行政サービスセンター

①　快適な窓口サービスと電話対応の向上に努めます。

職員相互間の情報の共有化を図り、市民のニーズに対し、広い間口体制を構築し、主担当が不在でも対応できる体制づくりと、電話対応の向上に努めます。

11　上対馬振興部

①　地域イベントを活かした交流人口の拡大を図ります。

本年で21回目を迎える「国境マラソンIN対馬」をより良いイベントとするため、職員間の連携を強化し、地元ボランティアスタッフと協力して、大会の盛会を目指します。

②　対馬の自然を活かした観光地の整備を図ります。

観光客の満足度を高め、交流人口の増加をめざすために、観光客の増加が見込まれる三宇田地域の整備方針を検討します。

③　窓口サービスの適正・迅速化と電話対応の向上を目指します。

職員相互間の情報共有化を図り、市民ニーズに対し広い間口体制を構築し、主担当が不在でも市民ニーズに応えられる体制づくりと、窓口・電話対応に対する苦情件数「ゼロ」を目指します。

④　公共工事の早期発注・早期完成に努めます。

公共工事における測量・調査・設計の早期着手及び工事の早期着工、早期完成をめざし、島内交通の利便性の向上に努めます。

11-1　上県行政サービスセンター

①　窓口及び電話対応の向上に努めます。

地域住民に寄り添った親切丁寧な窓口対応を実践することで、地域住民の最も身近な行政機関として相談しやすい環境を醸成します。

②　地域イベント・ボランティア活動へ参加します。

管内地域や近隣で開催される各種イベントやボランティア活動に積極的に参加し、市民協働の地域づくりを推進します。

③　庁舎内外の清掃及び整理整頓を徹底します。

地域住民に最も身近な行政機関として来庁者が視覚的に心地よい環境を醸成します。

12　消防本部

①　地区消防団員の増員、車両の適正配置及び団員の安全装備品配備を進めます。

機能別消防団員の加入により消防団員の実員数は増加したものの、依然として基本消防団員の減少には歯止めがかからない状況にあるため、女性、若年層を重点として消防団員の増員を図ります。

あわせて、本年度も引き続き消防団車両の適正配置及び消防団員の安全装備品の配備を行います。

②　応急手当の普及啓発活動に取り組みます。

応急手当の重要性について、年間を通してCATV、市報等で周知し、広く応急手当等の普及啓発活動を進め、救命率の向上を図ります。

③　住宅用火災警報器設置促進、維持管理及び宿泊施設の消防用設備等設置促進を図ります。

住宅用火災警報器設置促進と既設機器の維持管理について広く市民に周知します。また、小規模既存宿泊施設に対する自動火災報知設備の早期設置指導及び防火管理の徹底を行います。

13　教育委員会事務局

①　島っこ留学制度による留学生１名以上を招致します。

島外から市内の小中学校への留学生を1名以上招致するため、体験学習や広報啓発活動を実施するとともに、モデル地域において受入体制を整備します。

②　ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもを育成します。

対馬の未来を担う人材育成のための教育を推進するため、確かな学力を身に付けた児童生徒の育成、心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成、生徒指導及び特別支援教育の充実、校種間連携、地域との連携推進、幼稚園・こども園教育の充実を図ります。

③　地域の特性を生かした生涯学習を推進します。

対馬ならではの「しま」体験活動を実践し、地域教育力の向上と島の活性化を図ります。

④　文化財の保存・活用を図ります。

国指定史跡3箇所、県指定史跡1箇所の整備事業に継続して取り組みます。また、金田城が築造されてから今年で1350年の節目の年となるため、各種イベントを展開し情報の発信に努め、貴重な文化財を守り、残し伝えることにつなげていきます。

全体	1
個別	01-01

平成２９年度［　総　務　部　］組織目標

課　名	財　政　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

項　目	健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表
内　容	・市の財政状況や予算・決算などについて、市報・ホームページにわかりやすい形で掲載し、市の財政状況に関する市民の理解を深められるように努めます。 ・統一的基準による財務書類の作成と公表に取り組みます。
指　標（数値目標）	【今年度】

公表項目	ホームページ	市報
平成２９年度予算概要	○	○
平成２８年度下半期及び平成２９年度上半期予算の執行状況	○	○
平成２８年度決算	○	○
平成２８年度健全化判断比率、資金不足比率及び財務諸表	○	－
統一的基準による財務書類	○	－

【達成年度】
・同　上

達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
健全な財政運営の執行	随時実施											
ホームページ及び広報紙による財政状況の公表		○						○		○		○
わかりやすい予算概要版の作成及び配布		○										
統一的基準による財務書類作成	随時実施											

全体	2
個別	01-02

平成２９年度［　総　務　部　］組織目標

課　名	財　政　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

項　目	入札・契約の適正化
内　容	常に入札契約制度の検証を行い、公正性の確保・客観性・透明性の向上に努めます。また、現下の経済情勢を考慮し、国・県の動向と歩調を合わせ、適正な落札率となるよう運用を図ります。 また、現在の入札参加資格者申請について検証を行い必要に応じ、改めるよう努めます。 さらに、業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めるよう努めます。
指　標 （数値目標）	【今年度】 ・最低制限基礎価格の乗率を建設工事については９０％、コンサル業務、役務については７５％とすることを継続し適正な落札率となるよう運用を図ります。 ・現在の入札参加資格者申請について、検証を行い、必要に応じて改めます。 また、業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めます。 ・当初発注予定工事公表分（７５件）の入札実施目標 ・第１四半期　２５件　・第２四半期　４４件 ・第３四半期　６件　・第４四半期　０件 ・平成２７年度より入札時に提出を義務づけた工事費内訳書について引き続き制度の周知徹底に努めます。 【達成年度】 ・同　上
達成時期	平成３０年　３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
入札・契約制度の検証	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
入札参加資格申請の検証	→	→	→	→	→	→	→					
業者の格付けの検証	→	→	→	→	→	→	→					

全体	3
個別	02-01

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	政　策　推　進　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

	項　　目	第２次対馬市総合計画の進捗管理を行います。
	内　　容	平成２８年度から開始した第２次対馬市総合計画を推進するため、外部委員で組織する総合計画審議会において、各施策の進捗状況や目標の達成状況、事業内容について検証します。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ●施策の進捗状況・目標の達成状況の把握、事業内容の検証　⇒総合計画審議会の開催１回 【達成年度】 ●計画の期間：平成２８年度～平成３７年度の１０年間 ●達成年度：中間　平成３２年度、最終　平成３７年度 ●計画の見直し：平成３２年度
	達成時期	平成３３年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
総合計画審議会の開催				●								
平成２８年度事業実績の調査			→	→								
平成２９年度事業計画の調査			→	→								
総合計画における各施策の実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	4
個別	02-02

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	政　策　推　進　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり、なりわいづくり
		最優先課題	複数

	項　　目	対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理及び必要に応じた見直しを実施します。
	内　　容	平成２７年度に策定した「対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる各種施策の進捗状況及び重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成状況を、外部委員等で組織する総合戦略推進会議において検証するとともに、新たなニーズや社会情勢の変化に応じ、総合戦略の見直しを行います。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ●総合戦略に掲げる施策の実施状況、各重点戦略に掲げるＫＰＩの達成状況の把握と検証　⇒総合戦略推進会議の開催１回 ●ＫＰＩ達成のための、地方創生交付金の活用の推進　⇒地方創生推進交付金の新規申請件数２件 ●必要に応じた戦略の見直し　⇒総合戦略推進会議の開催１回 【達成年度】 ●戦略の期間：平成２７年度～平成３１年度 ●最終的なＫＰＩの達成年度：平成３１年度
	達成時期	平成３２年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
総合戦略推進会議の開催					●							
平成２８年度事業実績の調査			→	→								
平成２９年度事業計画の調査			→	→								
総合計画における各施策の実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
地方創生推進交付金の活用	申請		交付金事業の実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	5
個別	02-03

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	政　策　推　進　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	対象外
	項　目	対馬市景観計画の策定を進めます。	
	内　容	対馬市景観計画の策定に向け、景観に関する現況調査を実施するとともに、外部委員を含めた景観計画策定委員会での協議を進め、景観形成に向けた課題整理及び景観計画の策定を行います。	
	指　標（数値目標）	【今年度】 景観に関する現況調査、基本方針を基に、対馬景観計画策定に向け作業を進めます。 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成３０年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
現況調査・計画内容の整理			→	→	→	→	→	→	→	→	→	
景観計画策定委員会の開催					●			●				●
市民への説明							→	→				
議会説明						●						●
パブリックコメント											→	

全体	6
個別	02-04

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	未　来　創　生　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	全て
		最優先課題	全て

	項　　目	対馬市主要施策にかかるプロジェクト会議を設置します。
	内　　容	地域循環システムの発展的改編に伴い、今後の対馬市振興のために複数部局が連携して取組みを進めるべき施策を抽出し、「対馬市振興プロジェクト会議」として設置し、検討を進めます。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ◎対馬市振興プロジェクト会議【全体会】の開催：2回 ◎対馬市振興プロジェクト会議【部会】の開催：各2回 【達成年度】 ◎平成29年度:プロジェクト会議の設置及び各部会での協議 ◎平成30年度～33年度：会議での協議を踏まえた具体的な事業の実施
	達成時期	平成３４年　３月

スケジュール

取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主要プロジェクトの検討	↔	↔	↔	↔								
プロジェクト会議（全体会）の開催				○						○		
プロジェクト会議（各部会）の開催					↔	↔	↔	↔	↔	↔		

全体	7
個別	02-05

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	未　来　創　生　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	ワクワクする新しい仕事の創造
	項　目	様々な機関や業種が連携して産業の振興を目指します。	
	内　容	事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業を希望する方を多方面から総合的に支援し、産業振興と雇用の増加により地域の活性化を目指します。 また、特定有人国境離島の地域社会の維持に係る交付金による雇用機会拡充支援事業を活用し、雇用を伴う創業または事業拡大を行う民間事業者の支援を行います。	
	指　標 （数値目標）	【今年度】 ・ワンストップ相談窓口等での相談受付：７０件 ・創業者の目標数：１０件 ・雇用者の目標数：３０名 ※上記については雇用機会拡充支援事業も含む。 【達成年度】 ・同上	
	達成時期	平成３０年３月	

スケジュール

取り組み		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
ワンストップ相談窓口等の相談受付		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
創業支援会議	代表者会議				○						○		
	ワーキング部会						○			○			○

全体	8
個別	02-06

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	未　来　創　生　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備
	項　目	小規模水素ステーション及び燃料電池自動車の導入促進	
	内　容	次世代のエネルギーシステムとして、燃料電池やその燃料となる水素を供給する「水素インフラ」に注目が集まっており、国内自動車メーカーから水素を燃料とする「燃料電池自動車（FCV）」が市場に投入されています。 さらに、太陽光発電などの再生可能エネルギーが大量導入されてきたことから、電力需要のピークカットや電力系統安定化のために水素インフラや燃料電池を活用しようという動きも活発化しています。 このような状況の中、対馬においても、水素社会を見すえ、また、島内資源で製造が可能な水素の利活用を推進するため、小規模水素ステーション及び燃料電池自動車の先進的な導入を図ろうとするものです。	
	指　標 （数値目標）	【今年度】 関係機関(FCVメーカー、水素製造機メーカー等)との関わりを維持しながら、塩害対策や導入事例など水素社会の動向を注視しつつ、引き続き導入の検討を図ります。 【達成年度】 平成31年度　　小規模水素ステーション、燃料電池自動車の導入	
	達成時期	平成３２年３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	関係機関との協議（随時）	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	導入済み自治体への聞き取り（随時）	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	9
個別	02-07

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	未　来　創　生　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備

	項　　目	木質バイオマスボイラーの整備
	内　　容	島内のエネルギー資源活用及び低炭素社会化を図るため、公共施設に木質バイオマスボイラーを整備します。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 旧いづはら病院跡地を利用した温浴施設等への木質バイオマスボイラー設備及び付帯設備の整備に向けた検討を行います。 【達成年度】 ・同　上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	各施設担当部局との協議（随時）	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	10
個別	02-08

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	市民協働・交通対策課

No.	総合計画の区分	挑　戦	つながりづくり
		最優先課題	島内外の移動手段を確保する

項　　目	国際航路に国内旅客を混乗させる取組を進めます。
内　　容	対馬北部地域と本土を直接結ぶ唯一の航路は比田勝～博多間のフェリー航路のみであり、高齢化が進む北部市民が厳原港や対馬空港を利用するためには身体的、経済的に大きな負担が生じています。 このことから、福岡市と釜山市を結ぶ国際航路船に対馬北部からの国内旅客を混乗させていただき、比田勝～博多間の移動手段として利用することで、市民の生活利便性の向上と福祉の充実を図ります。
指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・九州郵船（株）、JR九州高速船（株）、対馬市で３者協議を実施 ・国土交通省との協議及び許可申請 ・CIQ関係省庁との協議、了承 ・国際港湾施設管理者との使用協議 ・市民への周知 【達成年度】 平成３０年度４月１日の運航を目指す
達成時期	平成３０年　４月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
３者協議（基本毎月）	→	記者発表	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
国土交通省との協議（随時）			● 協議	● 協議	● 協議	● 協議	→	→	（許可申請）	→	→	→
CIQ関係省庁との協議（随時）				● 協議	● 協議	● 協議			● 了承			
国際港湾施設管理者との協議(随時)		協議	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
市民への周知												⇒ 住民説明

全体	11
個別	02-09

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	市民協働・交通対策課

No.	総合計画の区分	挑　戦	つながりづくり
		最優先課題	人と人とのつながりを守る

項　　目	地域主導のまちづくりの強化・推進のため地域マネージャー制度を見直します。
内　　容	「地域自らが考える将来ビジョン」である『地域づくり計画』は２９か所（８７行政区）、『行動宣言』は５４か所（９８行政区）での策定にとどまっています。また、職員数の減少に伴う業務量の増加や地域課題の多様化・複雑化などを背景に、同制度が掲げた役割を果たすことができていない地域も見受けられます。 そこで、地域の実情や従事する職員の実情を考慮し、環境変化に対応できる制度への見直しを図ります。
指　　標（数値目標）	【今年度】 ・制度見直し後の運用方法の確立 ・地区説明会の開催 ・校区会議の開催 【達成年度】 ・同上
達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
制度見直し後の運用方法の確立	→	→	→	→								
市民への周知（広報・ＣＡＴＶ）						→	→	→	→	→	→	→
地区説明会の開催						→	→	→	→			
校区会議の開催						→	→	→	→			

全体	12
個別	02-10

平成２９年度［しまづくり推進部］　組織目標

課　名	市民協働・交通対策課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり
		最優先課題	外から若者を招き入れる

	項　　目	Ｕ・Ｉターン推進事業
	内　　容	・移住希望者へのワンストップ窓口「しまぐらし応援室」を開設しＵ・Ｉターン者へ対応します。 ・対馬市移住・定住支援補助金を交付し、Ｕ・Ｉターン者数の増加図ります。 ・対馬市移住・定住促進住宅を整備し、移住希望者へ貸し出す「移住お試し住宅」と、移住後の定住支援のための「定住支援住宅」の運用を開始します。 ・各種移住相談会等への参加をはじめ、情報発信を続けていきます。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・Ｕ・Ｉターン関係相談者数　50名 ・移住者数　10名 【達成年度】 ・同　上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
しまぐらし応援室開設、窓口対応			→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
各種補助金交付対応	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
お試し住宅、定住支援住宅の運用						→	→	→	→	→	→	→
各種相談会等への参加、情報発信		● 相談会	● 相談会	● 相談会		● 相談会	● 相談会	● 相談会			● 相談会	

全体	13
個別	03-01

平成２９年度［観光交流商工部］　組織目標

課　名	観　光　商　工　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備
	項　目	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。	
	内　容	観光案内版・誘導板の設置により、観光情報機能の強化を図るとともに、観光資源までのスムーズな誘導を促し満足度の向上を図ります。	
	指　標（数値目標）	【今年度】 ・観光案内・誘導板を島内全域に１４基設置（うち２基単独）予定 【達成年度】 ・２９２基（設置・改修）予定	
	達成時期	平成３１年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
観光案内版・誘導板設計			↔	↔								
観光案内版・誘導板入札					↔	↔						
観光案内版・誘導板設置								↔	↔	↔	↔	↔

全体	14
個別	03-02

平成２９年度［観光交流商工部］　組織目標

課　名	観　光　商　工　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	地場産品に高付加価値をつける
	項　目	地場産品の更なる消費拡大に取り組みます。	
	内　容	物産展等の開催や出展、福岡事務所や対馬観光物産協会と連携し、対馬の認知度向上、特産品の販路拡大及び対馬産品取扱店舗拡大に取り組みます。 情報発信の拠点として「よりあい処つしま」を活用し、定期的な対馬フェアを開催し、集客・誘客、対馬特産品販路拡大を図ります。 商品づくりの勉強会等を開催し、消費者ニーズに応じた商品づくりや販路拡大を図ります。 「海山交流」を行っている地域と物産・人・情報交流事業に取り組みます。	
	指　標（数値目標）	【今年度】 ・物産展売上額　10,000千円 ・レストラン等での対馬食材フェア開催　3会場 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成30年3月	

スケジュール

取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
物産展												
特産品PR												
対馬産品取扱店舗開拓												
商品づくり勉強会												
海山交流事業												

全体	15
個別	03-03

平成２９年度［観光交流商工部］　組織目標

課　名	観　光　商　工　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	対馬産品に高付加価値を付ける
	項　目	新規参入事業者の誘致と既存事業者への支援による商工業の活性化	
	内　容	人口減や少子高齢化、担い手不足、後継者不足などにより市内の産業は低迷し続けていますが、伸び続ける外国人観光客数や大型ﾎﾃﾙの建設など、商工業においては決して悪い状況だけではありません。 店舗の顧客満足度の向上や、事業承継の推進を図るためにも、市内の事業者への設備投資を促進し、商工業の振興を図ります。	
	指　標 （数値目標）	【今年度】 ・対馬市商工業活性化推進事業補助金　　20件 ・商工業活性化協議　　年5件 ・雇用推進策（労働者待遇改善含む）の策定 ・制度融資の活用促進 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成３０年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
商工業活性化推進事業補助金			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
商業活性化協議	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
雇用推進策の策定	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
制度融資の活用促進	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	16
個別	03-04

平成２９年度［観光交流商工部］　組織目標

課　名	文化交流・自然共生課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	観光客の誘致による活性化

	項　　目	国際交流イベントや朝鮮通信使行列のユネスコ記憶遺産登録を活用した交流人口拡大
	内　　容	①対馬厳原港まつりにおける朝鮮通信使行列の再現、つしま海道音楽祭や対馬アートファンタジアの開催支援を行い交流人口の拡大を図ります。 ②日本遺産ＰＲのための看板等を設置し関連イベントを行います。 ③旅行社（者）へのマナー向上、ルール順守の普及啓発を行い、市民の理解の促進を図ります。 ④朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産登録関連イベントを開催します。 ⑤朝鮮通信使を活用したまちづくり計画を策定します。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・朝鮮通信使行列再現への参加者数　３００人 ・つしま海道音楽祭への参加者数　４５０人 ・日本遺産ＰＲ用看板等設置３箇所、バスツアー２回 ・添乗員研修実施 ・ユネスコ記憶遺産登録関連イベント開催 【達成年度】 ・同　上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	交流イベント					行列再現	アートファンタジア	アートファンタジア					海道音楽祭
	日本遺産							バスツアー				看板設置	
	世界記憶遺産登録関連イベント							○					
	まちづくり計画の策定			協議	協議	協議	協議	協議	協議	協議	協議	協議	

全体	17
個別	03-05

平成２９年度［観光交流商工部］　組織目標

課　名	文化交流・自然共生課 博物館建設推進室

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	歴史・文化を未来に残す

	項　　目	対馬固有の遺跡や文化財の保存・活用
	内　　容	1　対馬博物館（仮称）施設の整備推進を行います。 2　対馬博物館（仮称）の開館を見据え、博物館の魅力を市内外へ発信します。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 1　① 実施設計の完成 ② 建築工事の着工及び施工管理の実施 ③ 管理運営基本計画に基づいた運営計画の具体化 2　① 九州国立博物館特別展示・対馬市里帰り展の開催 ② 文化財講座等による博物館の魅力発信　４回／年 【達成年度】 1　対馬博物館（仮称）の完成（竣工）　平成３１年度
	達成時期	平成３２年３月：（施設完成目標）

スケジュール

取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
博物館建設事業	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
博物館建設関連事業					↔	↔	↔					
対馬ﾐｭｰｼﾞｱﾑ・ﾌﾟﾛﾓｰﾀｰ事業	文化財講座		○			○			○		○	

全体	18
個別	04-01

平成２９年度［　市　民　生　活　部　］　組織目標

課　名	市　　民　　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

	項　　目	窓口コンシェルジュ化、親切な窓口づくり、証明書交付事務の適正化と効率化、番号制度導入にともなう適切な窓口対応
	内　　容	１　市役所全体業務を把握し、来訪者へ適正な説明、案内に努め窓口コンシェルジュ化（区役所案内係）を推進します。 ２　あいさつの励行、積極的な声かけ、丁寧な対応による親切な窓口づくりを推進します。 ３　各窓口センター及び郵便局における証明書等交付事務について、事務の現状把握を行い、迅速な処理と正確な事務を確保します。 ４　番号制度について広報等による周知を行うとともに、窓口での適切な対応を行います。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 １　窓口コンシェルジュ化の推進 ２　市民の方の要求に、丁寧かつ親身な対応を積極的に行います。 ３　各窓口センター及び郵便局の証明書交付事務は、受付、審査交付に至る事務や執務環境を検証し改善を行います。 ４　個人番号カード等交付事務については、さらなる制度の普及に向け市民の皆様へ周知を図ります。 【達成年度】 ・同　上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
窓口コンシェルジュ化												
親切な窓口づくり												
証明書交付事務の適正化と効率化												
番号制度　広報・CATV周知												

全体	19
個別	04-02

平成２９年度［　市　民　生　活　部　］　組織目標

課　名	税　　務　　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

項　　目	滞納処分の強化
内　　容	・　滞納者対策の強化として、厳正な滞納処分を実施するため、積極的に財産調査、預貯金調査、生命保険等の調査を行い差押えの実施および滞納処分の停止等滞納整理の充実を図ります。 ・　新規滞納者への早期接触をはかり滞納の解消に努めます。 ・　不動産公売の強化 ・　軽自動車税の徴収強化
指　　標 （数値目標）	【今年度】 市　税　現年分徴収率　97.90%　（前年度実績）　97.62% 　　滞納分徴収率　15.00%　（前年度実績）　11.86% 国保税　現年分徴収率　92.50%　（前年度実績）　92.36% 　　滞納分徴収率　12.00%　（前年度実績）　10.02% 【達成年度】 ・同　上
達成時期	平成30年5月

スケジュール

取り組み	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
徴収強化月間					○		○			○	○	○
課内研修の実施		○										
滞納処分	夜間窓口(月末)											
	滞納処分（差押え、執停、公売）											
	財産調査											

全体	20
個別	04-03

平成２９年度［ 市 民 生 活 部 ］ 組織目標

課 名	環 境 政 策 課

No.	総合計画の区分	挑 戦	ふるさとづくり
		最優先課題	きれいな地域をつくる
	項 目	各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションを推進します。	
	内 容	・生ごみ等資源の再利用システム事業に取り組みます。 ・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減を行います。 ・生ごみ堆肥化の活動を行う各種団体を支援します。	
	指 標 （数値目標）	【 今 年 度 】 ・生ごみ等資源再利用システム事業の実施 （回収世帯数：3,000世帯） ・生ごみ等堆肥化推進によるごみ量の削減（生ごみ回収量：300t） 【 達 成 年 度 】 ・平成31年度　ごみの減量化目標12%以上　（対平成16年度比） ・平成31年度　ごみの資源化目標25%以上	
	達成時期	平成３２年　３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	生ごみ等資源再利用システム事業	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	各種団体の支援	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	21
個別	04-04

平成２９年度［　市　民　生　活　部　］　組織目標

課　名	環　境　政　策　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	きれいな地域をつくる

	項　　目	漂流・漂着ごみの回収と発生抑制対策を推進します。
	内　　容	・海岸漂着物処理推進法及び長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用し、漂着物被害が著しい海岸を中心に海岸漂着物の円滑な処理を進めていきます。 ・海岸漂着物等の発生抑制のための関係者間の連携・交流等を目的とした環境学習を広く開催します。（日韓市民ビーチクリーンアップ事業等）
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・前年度の回収・処理を参考に、漂着ごみの計画的な回収を実施します。（回収・処理予定数量：トン袋で17,000袋） ・日韓市民ビーチクリーンアップ事業及び漂着ごみ回収イベントを実施します。（年2回実施） 【達成年度】 ・同　上
	達成時期	平成３０年　３月

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	日韓市民ビーチクリーンアップ事業の開催								○				
	漂着ごみ回収・処理の実施	←											→
	環境学習の実施	←											→
	漂着ごみの回収イベントの開催						○						

全体	22
個別	04-05

平成２９年度［　市　民　生　活　部　］　組織目標

課　名	美津島行政サービスセンター

No.	総合計画の区分	施策の大綱	対象外
		施　　策	対象外
	項　　目	市民ニーズの高度・多様化に応じた体制づくりの強化	
	内　　容	情報化社会の進展により、各種制度等についての市民の理解度の高まりから、最も多くの市民が利用する窓口として、複雑多様化する市民ニーズに応え、市民満足度の向上を図るため、職員一人ひとりの資質を高めることにより、親切丁寧な窓口サービスを実現します。 また、少子高齢化の進行など社会環境が大きく変化している中で、窓口応対全般において、速さや正確さだけでなく、これまで以上にプライバシー保護への配慮や市民一人ひとりの尊厳を尊重した、より親身な応対と行政として説明責任を徹底します。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ※苦情「ゼロ」に向けた体制づくり ○複数の関係課による互いの所管業務内容の把握及び積極的な情報の共有化を推進した緊密な連携 ○自己業務だけに止まらず、他者業務への理解と協力 ○担当業務を熟知し責任感をもって、市民の立場に立った迅速な対応 ○窓口・電話等の接遇マナー研修への参加及び実施 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成３０年　３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	上記全般	←											→

全体	23
個別	04-06

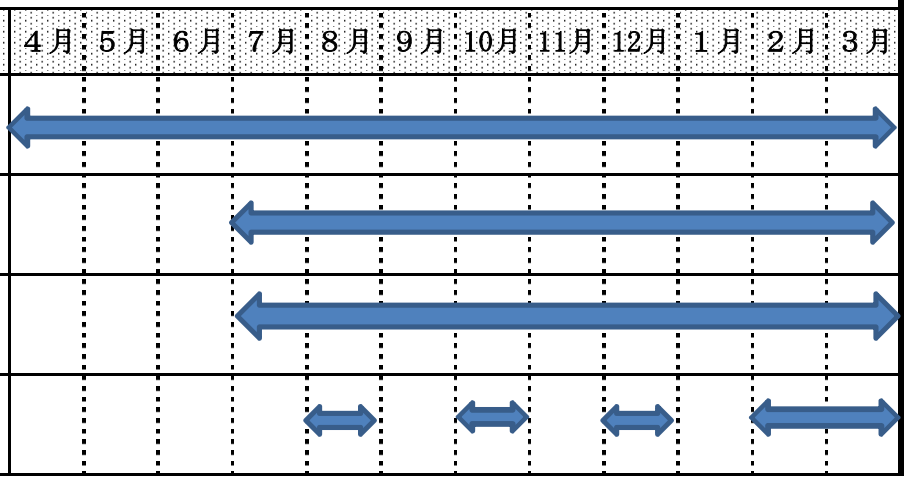
平成２９年度［　市　民　生　活　部　］　組織目標

課　名	美津島行政サービスセンター

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

項　　目	各種収納率の向上と徴収の徹底
内　　容	健全な財政運営を確保するため、公平・公正な収納業務を推進し，財源の根幹である各収入の確保を図ります。 【税】①納税相談（国保税短期証更新時含む）・納税催告の推進 ②財産調査と早期の差押 【水道】　滞納者への給水停止の強化 【市営住宅・保育料】　収納率１００％の維持確保 【共通】 ・徴収強化月間の設定（夜間徴収） ・滞納の早期発見と早期対応への徹底 ・分納対象者の履行確認等 ・口座振替の推進
指　　標 （数値目標）	【今年度】 （目標） 税　現年収納率　９３．１５％（平成３０年５月末） 水道　現年収納率　９７．５０％（平成３０年３月末） 市営住宅　１００．００％（平成３０年５月末） 保育料　１００．００％（平成３０年５月末） 【達成年度】 平成２９年度（５月末日）　税・市営住宅・保育料 平成２９年度（３月末日）　水道
達成時期	平成３０年　５月

スケジュール



全体	24
個別	05-01

平成２９年度［ 福 祉 保 険 部 ］ 組織目標

課 名	福 祉 課

No.	総合計画の区分	挑 戦	つながりづくり
		最優先課題	福祉と医療の体制を整える
	項 目	高齢者・障がい者の生きがいの創出	
	内 容	・高齢者福祉サービス 在宅の高齢者が自立した生活を安心して送ることができるよう、環境整備と生活支援の推進を図ります。 高齢者が地域で安心して暮らし続けるため、高齢者虐待防止ネットワークの活用を図ります。 ・障がい者福祉サービス 障がいのある方が安心して生活を営むことができるよう各種サービスの充実を図ります。	
	指 標 （数値目標）	【今年度】 ・高齢者福祉サービス 高齢者が健康でいきいきした生活を送ることができるよう、在宅高齢者福祉サービス（高齢者生活支援事業・福祉のまちづくり推進事業）の充実を図ると共に高齢者虐待の発生予防・早期発見及び的確な援助を図り、高齢者の孤独死「ゼロ」を目指します。 ・障がい者福祉サービス 障がい者が地域において自立した日常生活及び社会生活を営むための各種サービスの充実と複雑・多様化しつつある障がい者のニーズに対し、柔軟に対応できるよう職員の育成に努め、苦情「ゼロ」を目指します。 【達成年度】 ・同 上	
	達成時期	平成３０年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
高齢者福祉サービス	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
障がい者福祉サービス	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	25
個別	05-02

平成２９年度［ 福 祉 保 険 部 ］ 組織目標

課 名	こ ど も 未 来 課

No.	総合計画の区分	挑 戦	ひとづくり
		最優先課題	子どもを大切に育てる

	項 目	入所保留（待機）児童の解消
	内 容	施設の面積用件により保育所への入所を保留（待機）している児童を、近隣の保育所の保育士を基準数を満たす人員を確保し、近隣保育所への入所を案内することにより入所保留（待機）児童の解消を図り、子育てしやすい環境を整備する。 【入所保留（待機）児童数】 雛知保育所：４名 比田勝こども園：３名　　計７名
	指 標 （数値目標）	【今年度】 入所保留（待機）児童の解消 【達成年度】 ・同 上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
保育士の確保	←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→

全体	26
個別	06-01

平成２９年度［健康づくり推進部］　組織目標

課　名	健　康　増　進　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	つながりづくり
		最優先課題	人と人とのつながりを守る
	項　　目	市民健診の受診率向上	
	内　　容	対馬市特定健診・保健指導プログラムに基づき、特定健診受診率の向上を図ることで健康への意識付けを行い健康寿命の延伸につなげます。	
	指　　標（数値目標）	【今年度】 ・特定健診受診率４０％を目指します。 ・受診勧奨広報活動に努めます。 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成３０年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
集団型検診		広報活動					実施					
節目型検診		広報活動										
			実施									
個別型検診		広報活動										
			実施									

全体	27
個別	06-02

平成２９年度［健康づくり推進部］　組織目標

課　名	健　康　増　進　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	つながりづくり
		最優先課題	人と人とのつながりを守る
	項　　目	「第２次健康つしま２１計画」の策定	
	内　　容	対馬市民に応じた健康増進支援のための優先的に取り組む施策や事業の根拠となる「健康つしま２１計画（第１次）」が、平成２９年度で最終年度となるため、平成３０年度からの「第２次健康つしま２１計画」を策定します。	
	指　　標（数値目標）	【今年度】 ・「第２次健康つしま２１計画」を策定します。 ・策定委員会開催　　年４回実施予定 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成３０年　３月	

スケジュール

取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第２次健康つしま２１計画策定	計画策定											
策定委員会開催					策定状況に応じて調整							

全体	28
個別	06-03

平成２９年度［健康づくり推進部］　組織目標

課　名	地域包括・医療対策課

No.	総合計画の区分	挑　戦	つながりづくり
		最優先課題	人と人とのつながりを守る

	項　　目	介護予防自主活動の継続と拡大
	内　　容	昨年度から始まった介護予防自主活動助成制度は、平成２８年度実績で２６団体の利用がありました。今年度は、まず、昨年度利用団体の継続利用を主眼に置き、新たな利用も拡大していきます。地域包括ケアシステムの推進を念頭に、健康寿命を延ばして元気な高齢者を増やすとともに、介護予防に取り組む地域コミュニティづくりの促進及び高齢者の生活機能の向上と地域での自立した生活の維持を図ります。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・介護予防自主活動助成制度利用団体数　　３０団体以上 ・前年度利用団体が継続して活動　　２６団体 【達成年度】 ・同　上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	介護予防自主活動の普及・啓発	←											→

全体	29
個別	07-01

平成２９年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	農 林 ・ し い た け 課

No.	総合計画の区分	挑 戦	なりわいづくり
		最優先課題	良質な対馬産品をつくる、対馬産品に高付加価値をつける

	項 目	對馬椎茸”やる倍”ナバダス計画総合対策支援事業
	内 容	「對馬椎茸”やる倍”ナバダス計画」に基づき、計画的にしいたけ振興策を図ります。 ①生産者のやる気を倍増 価格の安定化(生しいたけ安定価格買取) ②生産量を倍増 作業の効率化(生産団地・省力化機械器具導入、種駒補助制度) ③系統(全農市場)外出荷量を倍増 分業化・安定供給(量、品質、納期)に向けたルールづくり
	指 標 (数値目標)	【 今 年 度 】 ○大型生産団地導入支援 １団地 ○しいたけ生産推進 種駒補助 1,300万個 ○対馬しいたけ販路拡大流通体制構築支援 物産展40回 ○生産量 乾３９．３トン 生７３．１トン 【 達 成 年 度 】 ○生産量 乾１２０トン 生２００トン
	達成時期	平成３１年 ３月

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	対馬しいたけ販路拡大流通体制構築事業												
	大型生産団地導入支援事業												
	しいたけ生産推進事業(種駒補助)												

全体	30
個別	07-02

平成２９年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	農 林 ・ し い た け 課

No.	総合計画の区分	挑 戦	なりわいづくり
		最優先課題	良質な対馬産品をつくる
	項 目	市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業	
	内 容	【市有林整備】 市有林及び分収林の森林整備を推進します。 【Ｊ－ＶＥＲ制度関係】 市有林間伐による二酸化炭素吸収量のクレジット化と販売促進を行います。また、森林組合と協働し、私有林の整備によるクレジット発行も進めていきます。 【基金の活用】 民有林を含め、森林整備促進のための新たな財源として活用します。また、森林づくり基本計画及び伐採ガイドラインの実行施策への財源として活用します。	
	指 標 （数値目標）	【 今 年 度 】 【市有林整備】 ①森林整備面積：16ha（利用間伐） ②路網整備：Ｌ＝3,000m 【Ｊ－ＶＥＲ制度関係】 ①クレジット売買のための企業訪問やイベントへの参加（５回） ②クレジット販売：１００ｔ-CO2（収入金：800千円） ③新規契約件数：３件 【基金の活用】 ①ツシマヤマネコの森林づくり事業委託料（1,500千円） ②森林環境に配慮した森林整備補助金（2,500千円） 【達成年度】 ・同 上	
	達成時期	平成３０年 ３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
①森林整備（利用間伐及び路網整備）					↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
②企業訪問、マッチングイベントへの参加	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
③基金事業					↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	31
個別	07-03

平成２９年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	農 林 ・ し い た け 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	ふるさとづくり
		最優先課題	自然の保全と持続可能な利用
	項目	対馬猪鹿活用促進事業	
	内容	対馬猪鹿活用促進事業で、要請があった地区には直接出向き、防護柵の位置情報、捕獲情報等の有害鳥獣対策の現状を地域住民にフィードバックします。対策の主体は地域であり、行政は対策をサポートするため蓄積された情報を根拠に効果的な体制づくりのサポートに徹していきます。(行政依存体質の脱却) 被害対策を推進するための防護柵の整備については、新規柵の整備、居住区域内安全対策、家庭菜園等防護柵と、事業メニューが多く市民の理解度が低い事から、学習会開催時に被害対策についての正確な情報提供に努めます。 また、有害鳥獣の資源活用として食肉加工品や皮革製品等に取り組み、食べて美味しい、使って楽しい等、市民が有害鳥獣対策に関わるきっかけをポジティブなイメージにするため、普及啓発活動を実施します。特に学校給食での食材利用や市内飲食店での活用を促進し、地域食材としての食育と担い手育成に繋げていきます。	
	指標(数値目標)	【今年度】 ①地域主導の被害対策推進地区増加数：5地区 ②地区捕獲隊増加数：5地区 ③「イノシシ・シカに関する地区学習会」開催：5地区 ④有害鳥獣利活用及び人材・担い手（対馬の子供達）育成 学校給食食材利用校：対馬市内の全ての小中学校 総合的学習「有害鳥獣対策」開催：２校 ⑤各種防護対策の実施 【達成年度】 ・同 上	
	達成時期	平成３０年３月	

スケジュール

取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域主導の被害対策推進活動	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
地区捕獲隊普及活動	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
イノシシ・シカに関する地区学習会	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
有害鳥獣利活用及び人材育成	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
各種防護対策の実施	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	32
個別	07-04

平成２９年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	農 林 ・ し い た け 課

No.	総合計画の区分	挑 戦	なりわいづくり
		最優先課題	良質な対馬産品をつくる

項 目	学校給食地場農林水産物導入事業
内 容	学校給食での地場農林水産物利用に係る食材供給について、特産・推奨品である椎茸・あか牛・野菜及び水産物購入への支援を行います。また、この事業を活用してたまねぎ・じゃがいもを安定供給するための事業を試験的に実施します。
指 標 （数値目標）	【 今 年 度 】 安定供給体制を整備します。 地場産のたまねぎ、じゃがいもの学校給食での使用量を目標値まで増加します。 28年度（使用割合） 29年度 ・たまねぎ 4287kg（27.0%） → 4500kg ※既に作付終了のため ・じゃがいも 2559kg（30.3%） → 3000kg 【達成年度】 学校給食に地場産品を使用する割合：重量比 ・米 年40回 （補助限度回数） ・しいたけ 100% ・野菜 ※ 30% ※野菜は、しいたけ・果物を除くすべての野菜 うち、アスパラガス 60% たまねぎ 40% じゃがいも 40% ・海藻類 年30回以上 ・魚介類 年35回以上
達成時期	平成３２年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
協力農家募集	↔	↔										
意見交換会				○								
貯蔵試験			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
給食への導入	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	33
個別	07-05

平成２９年度［　農　林　水　産　部　］　組織目標

課　名	農 林 ・ し い た け 課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり、なりわいづくり
		最優先課題	外から若者を招き入れる、良質な対馬産品をつくる
	項　目	対馬の農林水産業担い手・『林業女子』育成及び『人財』発掘事業	
	内　容	市の基幹産業である漁業、林業等において、生産者の高齢化及び後継者不足により新規の担い手確保が急務です。農林産業分野の事業者、漁協等の団体、市が一体となって新規就業のための移住相談会への参加及び合同面談会を開催し、就業意向者と事業者側のマッチングの機会及び新規参入者向けの説明会などを実施します。 〇事業検討部会及び採用者向け研修会開催 〇農林水産業職業紹介映像制作 〇移住相談会及び合同企業面談会におけるポスター、チラシ作成 〇都市部及び対馬市内における移住相談会出席及び合同企業面談会開催 〇林業新規正規雇用従事者の人件費及び研修費等の一部助成	
	指　標（数値目標）	【今年度】 〇新規林業従事者５名 〇新規業業従事者３名 計８名 【達成年度】 〇新規林業従事者１５名 〇新規業業従事者　９名 計２４名	
	達成時期	平成３１年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
事業検討会及び採用者向け研修会の開催	↔		↔						↔			↔
農林水産業新規就農者向けパンフレットの作成		←						→				
移住相談会参加及び合同企業面談会開催	←											→

全体	34
個別	07-06

平成２９年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	水 産 課

No.	総合計画の区分	挑 戦	なりわいづくり
		最優先課題	対馬産品に高付加価値をつける

	項 目	水産物の輸送費補助
	内 容	・水産物を島外へ出荷する際の輸送コスト及び餌移入に係る経費を財政的に支援することで、漁業者の所得安定及び減少に歯止めをかけ、漁業の発展に繋げます。
	指 標（数値目標）	【 今 年 度 】 ・１５８万２千箱以上分の輸送及び餌移入の助成を行い、漁業者の負担軽減を図ります。 【 達 成 年 度 】 ・同 上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	補助対象期間	←											→

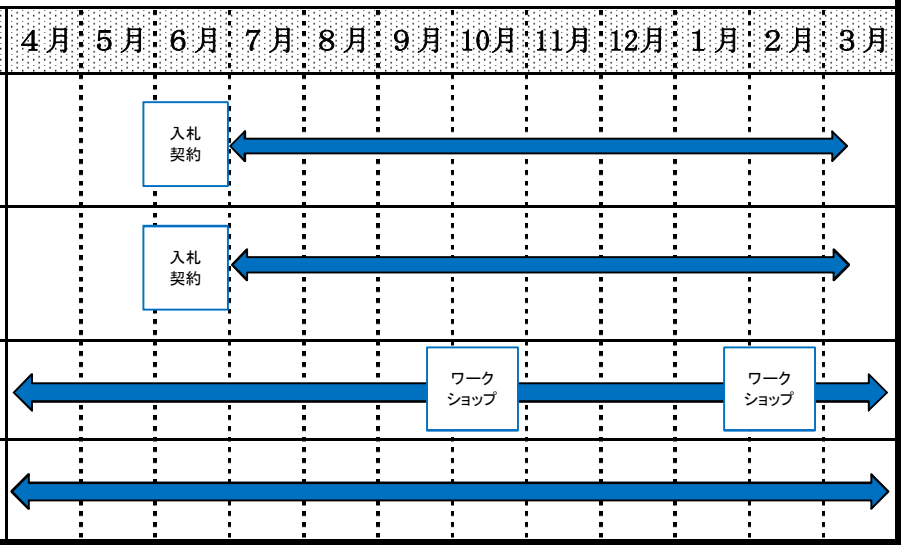
全体	35
個別	07-07

平成２９年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	水 産 課

No.	総合計画の区分	挑 戦	ふるさとづくり
		最優先課題	自然の保全と持続可能な利用
	項 目	「海洋保護区」の設定	
	内 容	水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るために「海洋保護区」の設定を目指します。設定推進協議会は、科学的根拠に基づく科学委員会の答申や漁業者、関係団体等からの意見を検討して、区域設定や区域内の資源管理計画を策定し、国や県などに働きかけ、対馬らしい海洋保護区の設定を目指します。	
	指 標（数値目標）	【今年度】 ①「(仮称)対馬海洋保護区管理計画」等の策定に向け、情報収集・整理等を行います。 ② 藻場再生を図る取組の一環として、食害魚の一斉駆除を実施します。 ③ 対馬の海の幸を守るため、磯資源利用状況調査を行い、対馬の海を知る教材を作製します。 ④ 九州大学等外部研究機関との連携を深めます。 ⑤ 資源管理活動のデータ化を行います。	
	達成時期	海洋保護区設定については可能な限り早期の設定を目指します。	

スケジュール



全体	36
個別	07-08

平成２９年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	基 盤 整 備 課

No.	総合計画の区分	挑 戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備
	項 目	基盤整備工事の早期発注、早期完成	
	内 容	農林道整備、漁港漁場整備等の公共工事は、第一次産業の基盤整備として、農林水産業従事者の所得向上を目指すものであります。 その中で事業の早期着工は、市の経済流通の初動を促し、市民生活を活性化させると共に、早期完成は市民の生活基盤の底上げにつながるものであり、本年度においても計画的な発注を行い年内に委託業務完了100%及び工事の執行100%を目指します。	
	指 標 （数値目標）	【今 年 度】 平成29年度建設工事発注予定額 1,308百万円 平成29年度建設工事発注予定件数 委託 16件 工事 20件 平成29年12月 委託業務完了予定額 100%目標（223百万円） 平成29年12月 委託業務完了予定件数 委託 16件 平成29年12月 工事執行予定額 100%目標（1,085百万円） 平成29年12月 工事執行予定件数 工事 20件 【達成年度】 ・同 上	
	達成時期	平成２９年１２月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
測量・調査・設計委託の設計書作成		←							→			
工事の設計書作成			←						→			
測量・調査・設計委託の管理及び完成			←									→
工事の施工管理及び完成					←							→

全体	37
個別	08-01

平成２９年度［　建　設　部　］組織目標

課　名	管　理　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

項　目	市営住宅使用料未収金の縮小
内　容	市営住宅の使用料について、受益負担の原則、また使用料を滞納し支払いを逃れようとする者との負担の公平性の観点から、市営住宅使用者に公平に負担して頂くために、徴収方法を定めた対馬市営住宅家賃滞納整理事務要綱に基づき未収額の縮小に努めます。 ・滞納者には、退去者にかかわらず文書による督促事務を行い、長期滞納者に対しては文書による確約等を締結し、分納指導を実施します。 ・確約不履行等の悪質滞納者には、裁判所による明け渡し命令等の法的手続きを行います。
指　標（数値目標）	【今年度】 市営住宅使用料徴収率（現年分＋滞納分） ９０．００％（前年度実績８３．９７％） （上段：目標、下段：実績） H23 90.15% 85.26% H24 91.04% 85.75% H25 91.84% 85.97% H26 91.84% 85.16% H27 91.00% 85.28% H28 91.00% 83.97% H29 90.00% 【達成年度】 ・同　上
達成時期	平成３０年　３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
滞納者と協議												
関係機関との協議												
徴収率向上に向けた行動												

全体	38
個別	08-02

平成２９年度［　建　設　部　］組織目標

課　名	建　設　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	つながりづくり
		最優先課題	島内外の移動手段を確保する

	項　目	公共工事の早期発注、早期完成に努めます。
	内　容	公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって市民の生活基盤の底上げを図ります。
	指　標 （数値目標）	【今年度】 平成29年度12月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計） 6 件　45 百万円　《100％目標》 平成29年度12月末設計書作成件数及び予定額（工事） 10 件　683 百万円　《100％目標》 【達成年度】 同　上
	達成時期	平成28年12月

スケジュール

取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
測量・調査・設計委託の設計書作成												
工事の設計書作成												
測量・調査・設計委託の管理及び完成												
工事の施工管理及び完成												

全体	39
個別	09-01

平成２９年度［ 水 道 局 （ 部 ） ］ 組織目標

課　名	水　　道　　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

	項　　目	水道料金の収納率向上
	内　　容	水道料金の収納率向上は、経営の効率化と安定化のためには喫緊の課題であり、主として以下のことに取り組みます。 ① 新規滞納者の減少 ② 納付確約（分納）者の取り組み強化 ③ 給水停止措置の強化
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 収納率（現年度分）の数値目標を下記のとおりとします。 ・対馬市水道事業　　９７．０％（前年度実績 ９６．５％） 【 達 成 年 度 】 ・同　上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
納付勧奨（督促・催告）	←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→
給水停止措置		←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→

全体	40
個別	09-02

平成２９年度［ 水 道 局 （ 部 ） ］ 組織目標

課　名	水　　道　　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

	項　　目	水道事業の有収率向上
	内　　容	水道事業を経営していく中で、有収率（浄水場で作られた水量と実際に家庭等の蛇口から出て使われた水量の割合）対策は、重要な課題となっております。 対馬市の水道事業の有収率は、近年、70％前後を推移しておりましたが、平成28年度は69．22％であり、浄水場で作られた水の3割以上が漏水している状況です。 有収率の向上は、水道事業の経営安定化のためには、必要不可欠な問題となっています。 今後、年次的に配水管等の漏水対策を行い、有収率の向上に努めていきます。
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 平成２９年度有収率を６９．５０％以上にします。 （平成２８年度有収率：６９．２２％） 【 達 成 年 度 】 平成３２年度有収率を７０％以上にします。
	達成時期	平成３３年３月

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	漏水調査及び修理		←										→

全体	41
個別	10-01

平成２９年度［ 中 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	地　域　振　興　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	観光客の誘致による活性化
	項　目	中対馬未来づくりアクションプランの策定	
	内　容	中対馬地区は、和多都美神社・烏帽子岳展望所等の一時的に訪れる観光資源はあるものの、上・下対馬と比較し、観光施設・宿泊施設等の整備が遅れており、長時間滞在する環境は整っていません。 そのため、観光客にとっては単なる通過点になっているのが現状です。 中対馬地区を今後の対馬の発展における重要な地区と位置づけ、様々な分野において好循環をもたらす環境整備を行うため、観光整備を基軸とした総合計画を策定します。 策定するにあたり、地区住民で構成される策定委員会委員、担当者だけでなく、課内で協力のもと、協議・調整を行いながら策定業務に取り組みます。	
	指　標 （数値目標）	【今年度】 ・策定委員会　３回 ・基本方針の検討　１回 ・全体構想の検討　１回 ・事業計画の検討　１回 ・最終調整 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成３０年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
策定委員会（３回）				↔			↔			↔		
基本方針の検討			↔									
全体構想の検討						↔						
事業計画の検討									↔			
計画の最終調整												↔

全体	42
個別	10-02

平成２９年度［ 中 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	住　民　生　活　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

	項　　目	適正な窓口業務、管轄地区内の環境美化
	内　　容	①窓口業務における市民の満足度の向上を図ります。 ②ごみ分別の徹底及び不法投棄防止の啓発に努めます。
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 ①苦情件数「ゼロ」を目指します。 ②違反ごみ及び不法投棄箇所数の削減 【 達 成 年 度 】 ・同　上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール	取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	あいさつの励行	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	丁寧で適正な対応	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	管轄地区内の巡回・看板等の設置による防止活動	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	ごみステーションの巡回・回覧等による指導	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	43
個別	10-03

平成２９年度［ 中 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	住　民　生　活　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

	項　　目	税・水道料金の納付促進
	内　　容	①税の徴収率向上 ②水道料金の徴収率向上
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 ①税の現年徴収率を９５％以上、滞納分徴収率を１０％以上にします。 ②水道料金の現年分徴収率を９９％以上、未納額を８０万円以下にします。 【 達 成 年 度 】 ・同　上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
・納税相談 ・誓約の履行	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
・時間外徴収	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	44
個別	10-04

平成２９年度［ 中 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	峰行政サービスセンター

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

	項　　目	快適な窓口サービスと電話対応の向上
	内　　容	職員相互の情報の共有化を図り、市民のニーズに対し広い間口体制を構築し、主担当が不在でも対応できる体制づくりと、電話対応の向上を目指します。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・窓口対応の適正・迅速化を図ります。 ・窓口及び電話対応に対する「苦情ゼロ」を目指します。 【達成年度】 ・同　上
	達成時期	平成３０年　３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
窓口対応の適正・迅速化	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
電話対応	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	45
個別	11-01

平成２９年度［ 上 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	地　域　振　興　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	観光客の誘致による活性化

	項　　目	地域イベントを活かした交流人口の拡大
	内　　容	○国境マラソンＩＮ対馬の開催 本年で２１回目を迎える「国境マラソンＩＮ対馬」をより良いイベントとするため、職員間の連携を強化し、地元ボランティアスタッフと協力して、大会の盛会を目指します。
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 大会参加者数：１，３００名 ボランティアスタッフ：３５０名 【達成年度】 ・同　上
	達成時期	平成２９年　７月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
国境マラソンＩＮ対馬の開催	←	―	―	→								

全体	46
個別	11-02

平成２９年度［ 上 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	地　域　振　興　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	観光客の誘致による活性化
	項　目	対馬の自然を活かした観光地の整備	
	内　容	○三宇田地域整備方針の検討 対馬の豊かな自然を活かした観光地の整備を行い、観光客の満足度を高め、交流人口の増加を目指します。	
	指　標 （数値目標）	【今年度】 県所有の自然公園施設部分を譲り受け、平成３０年度以降に施設整備を行うため、国定公園の事業認定を目指します。 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成３０年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
三宇田地域整備方針の検討	←											→

全体	47
個別	11-03

平成２９年度［ 上 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	住　民　生　活　課

No.	総合計画の区分	挑　　戦	対象外
		最優先課題	対象外

	項　　目	窓口サービスの適正・迅速化と電話対応の向上
	内　　容	職員相互間の情報の共有化を図り、市民ニーズに対し広い間口体制を構築し、主担当が不在でも市民ニーズに応えられる体制づくりと、窓口・電話対応の向上を目指します。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・窓口対応の適正・迅速化を図ります。 ・窓口・電話対応に対する苦情「ゼロ」を目指します。 【達成年度】 ・同　上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
窓口サービスの適正・迅速化	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
電話対応の向上	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	48
個別	11-04

平成２９年度［ 上 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	北 部 建 設 事 務 所

No.	総合計画の区分	挑　戦	つながりづくり
		最優先課題	島内外の移動手段を確保する

	項　　目	公共工事の早期発注、早期完成
	内　　容	公共工事における測量・調査・設計の早期着手及び計画的な用地交渉を行い、本工事の早期着工及び完成を目指し、島内交通の利便性の向上に努めます。
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 平成29年度12月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計） 総務費　9件　135百万円 農林水産業費　2件　11百万円 土木費　1件　18百万円 平成29年度12月末設計書作成件数及び予定額（工事） 農林水産業費　6件　91百万円 土木費　5件　225百万円 【 達 成 年 度 】 同　上
	達 成 時 期	平成２９年１２月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
測量・調査・設計委託の設計書作成	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔			
用地・補償関係の交渉及び契約	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔			
本工事関係設計書作成	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔			
測量・調査・設計委託の管理及び完成		↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
本工事関係の施工管理及び完成			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	49
個別	11-05

平成２９年度［ 上 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	上県行政サービスセンター

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

	項　　目	窓口及び電話対応の向上
	内　　容	地域住民に寄り添った親切丁寧な窓口対応を実践することで、地域住民の方々の最も身近な行政機関として相談しやすい環境を醸成します。 また、電話対応においては相手の立場に立った親しみやすく、分かりやすい、親切丁寧な対応の実践を図ります。 ・来庁者への声かけ及び挨拶の励行を実践する。 ・職員相互の情報の共有化を図り、スピーディな窓口対応を実践する。 ・電話は３コール以内の受信に努め、送話者の立場に立った電話対応を実践する。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 窓口及び電話対応による苦情件数ゼロを目指す。 【達成年度】 同　上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	来庁者への声かけ及び挨拶の励行												
	スピーディな窓口対応												
	送話者の立場に立った電話対応												

全体	50
個別	11-06

平成２９年度［ 上 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	上県行政サービスセンター

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

	項　　目	地域イベント・ボランティア活動への参加
	内　　容	管内の地域で開催されるあじさい祭り・パラグライディング大会、対馬初午祭り等のイベント、その他清掃活動等に上県行政サービスセンター職員が積極的に参加し、市民協働の地域づくりを推進します。 また、近隣地域で開催されるひとつばたご祭り、国境マラソンＩＮ対馬等のイベントにも積極的に参加し、職員間の相互連携体制の強化づくりを促進し、北部対馬の一体感を醸成します。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 管内イベント等の正職員の参加率　６０％以上を目標 近隣地域イベント等の正職員の参加率　５０％以上を目標 【達成年度】 同　上
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
地域イベント・ボランティア活動への積極的な参加	←											→

全体	51
個別	11-07

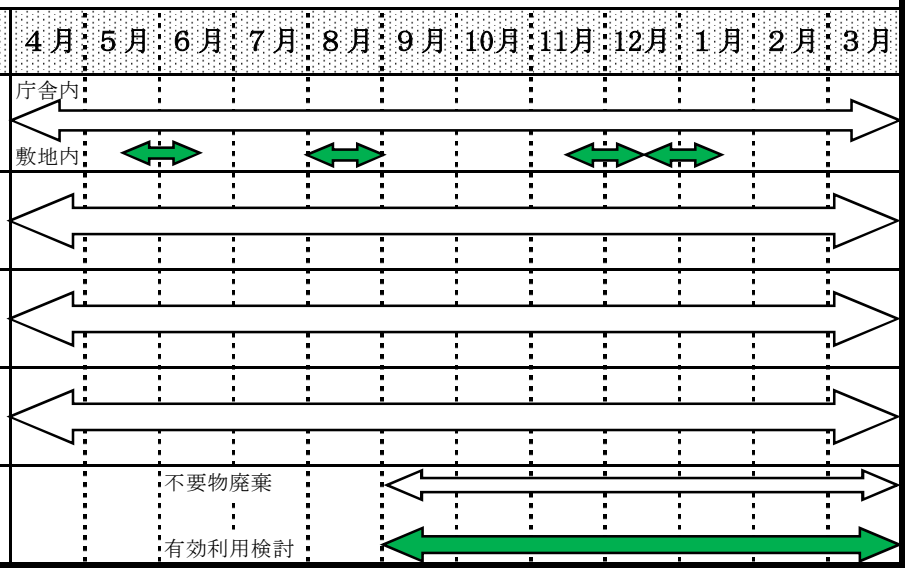
平成２９年度［ 上 対 馬 振 興 部 ］ 組織目標

課　名	上県行政サービスセンター

No.	総合計画の区分	挑　戦	対象外
		最優先課題	対象外

項　　目	庁舎内及び庁舎敷地内の清掃及び整理整頓の徹底
内　　容	上県行政サービスセンター庁舎内及び敷地内の清掃並びに整理整頓を徹底することで、地域住民に最も身近な行政機関として来庁者が視覚的に心地よい環境を醸成します。 また、行政機関の縮小により使用していないスペースの不要物の廃棄等を行い、庁舎空きスペースを書庫、会議室等への有効利用の検討を実施します。
指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・庁舎内の週１回の清掃の実施 ・年４回の庁舎敷地内の清掃及び除草の実施 ・ごみや汚れを見つけた場合の「即清掃」の実施 ・庁舎内から出るごみの減量化と分別の実施 ・ポスター等の掲示物の掲示期限到達後の速やかな廃棄 ・使用していないスペースの不要物の廃棄 【達成年度】 同　上
達成時期	平成３０年３月

スケジュール



全体	52
個別	12-01

平成２９年度［　消　防　本　部　］　組織目標

課　名	総　　務　　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備

項　　目	地区消防団員の増員、車両の適正配置及び団員の安全装備品配備
内　　容	平成２８年度に創設した機能別消防団員の加入に伴い、消防団員の実員数は昨年度に比べ５人増加しました。 しかしながら、依然として基本消防団員の減少には、歯止めがかかっていない状況にあることから本年度も基本消防団員の増員を図ります。特に女性、若年層の消防団員の増員を図ります。 あわせて、本年度も引き続き消防団車両の適正配置及び消防団員の安全装備品の配備を行います。
指　　標 （数値目標）	【今年度】 ● 各地区基本消防団員の増員を図ります。 ● 団員安全装備品配備計画を継続します。 安全半長靴 【達成年度】 ● 同　上
達成時期	平成３０年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
消防団組織等改革推進委員会								○				○
消防団員増強に向けた活動	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷	⟷
団員安全装備配備				⟷ 入札	⟷			⟷ 入荷予定	⟷		⟷ 配備	⟷

全体	53
個別	12-02

平成２９年度［　消　防　本　部　］　組織目標

課　名	警　防　課

No.	総合計画の区分	挑戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備
	項目	応急手当の普救啓発活動	
	内容	救急隊到着まで、現場に居合わせた市民による応急手当（心肺蘇生法・ＡＥＤの活用）は救命率の向上及び救命予後を左右すると言われ重要であります。また、全島で１９６事業所（公共施設、学校、民間施設等）に２１２基設置されているＡＥＤ活用の重要性について、年間を通してＣＡＴＶ、市報等で周知し、広く応急手当等の普及啓発活動を進め、救命率の向上を図ります。	
	指標（数値目標）	【今年度】 昨年度目標受講者数１，７００名に対し１，２２３名で、目標達成率は７１%にとどまり、若干低下傾向にあります。今年度引き続き応急手当及びＡＥＤの効果や重要性を訴え、普通救命講習及び救急法等を受講して頂くことにより、バイスタンダーの養成に努め、昨年以上の救急法等を指導推進し市民の安全安心の向上を図ります。 （目標受講者数：延べ１，３００名） 【達成年度】 同　上	
	達成時期	平成３０年　３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	救命講習指導推進	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	推進広報の実施	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	54
個別	12-03

平成２９年度［　消　防　本　部　］　組織目標

課　名	予　　防　　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安心安全のインフラ整備
	項　　目	住宅用火災警報器設置促進、維持管理及び宿泊施設の消防用設備等設置促進	
	内　　容	１．住宅用火災警報器設置促進のため、火災予防運動や広報誌等を活用し、設置促進を図るとともにホームヘルパーや民生委員などに協力を依頼し、既設の住宅用火災警報器の維持管理の指導を行います。 ２．小規模既存宿泊施設に対する自動火災報知設備の早期設置指導及び防火管理の徹底を行います。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 １．住宅用火災警報器設置率５０％未満の地区をなくすとともに対馬市全域において設置率８０％以上となるよう向上を図ります。 ２．小規模既存宿泊施設に対する自動火災報知設備の設置猶予期間が、今年度末となっているため既存施設に対する指導徹底を図ります。 【達成年度】 同　上	
	達成時期	平成３０年　３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	住宅用火災警報器設置促進、維持管理	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
	宿泊施設の消防用設備等設置促進	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	55
個別	13-01

平成２９年度［教育委員会事務局］　組織目標

課　名	総　　務　　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり
		最優先課題	子どもを大切に育てる
	項　　目	島っこ留学制度による留学生１名以上を招致する。	
	内　　容	「島っこ留学制度」は、豊かな学びと地域における体験活動等を願う島外の方を対象に、市内の小・中学校に入学または転学を希望される児童・生徒を受け入れ、対馬市の学校並びに地域の活性化と教育の振興・充実を図る事を目的として平成２７年１１月からスタートした制度です。 複式学級の解消にも有効で、去年に引き続き西小学校、豆酘中学校を受入モデル地域として体験留学、広報・啓発事業を実施します。 受入体制の未整備により、２年間実績がなかったため、地元実行委員会の協力をいただき１名以上の留学生を招致を目指します。	
	指　　標（数値目標）	【今年度】 ○留学生招致　１名以上（小学生若しくは中学生） ➔体験留学（８組１６名）の実施 ➔広報・啓発事業（専門業者への委託事業）の実施 ➔移住・定住政策担当課との事業連携協議の実施 【達成目標】（総合基本計画掲載数値） ＜中期目標＞ 平成３２年度末までの留学生累計　　１５名 ＜最終目標＞ 平成３７年度末までの留学生累計　　３０名	
	達成時期	平成３７年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
島っこ留学推進協議会開催			●第１回					●第２回				
体験留学実施					●８月９日の登校日に合わせて実施							
広報・募集活動			←								→	
留学生確定											●	

全体	56
個別	13-02

平成２９年度［教育委員会事務局］　組織目標

課　名	学　校　教　育　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり
		最優先課題	子どもを大切に育てる

	項　　目	ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成
	内　　容	【対馬の未来を担う人材育成のための教育の推進】 １．確かな学力を身に付けた児童生徒の育成 ２．心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成 ３．生徒指導及び特別支援教育の充実 ４．校種間連携、地域との連携の推進 ５．幼稚園・こども園教育の充実
	指　　標 （数値目標）	【 今 年 度 】 １．確かな学力を身に付けた児童生徒の育成 (1)主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりに関する指導 (2)少人数指導、複式指導の充実 ２．心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成 (1)ふるさとを題材にし、学習場所にする学習の充実 (2)道徳教科化の趣旨の徹底と授業改善の促進 ３．生徒指導及び特別支援教育の充実 (1)関係機関、ＳＳＷ及びＳＣとの連携及び各種研修の充実 (2)各種実態調査の継続実施と、個に応じた支援策の推進 ４．校種間連携、地域との連携の推進 (1)学校・家庭・地域が一体となった学校づくりの推進 (2)連携型中高一貫教育の充実 ５．幼稚園・こども園教育の充実 (1)特色ある園づくりの推進 (2)比田勝こども園の運営支援
	達成時期	平成３０年３月

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	学校訪問の実施			↔				↔					
	各種研修会や研究発表会等における指導	↔											
	学校間連携及び中高一貫教育の充実	↔											
	ふるさと学習全体計画の作成と指導の充実	↔											
	生徒指導及び特別支援教育の充実	↔											
	こども園運営の支援	↔											

全体	57
個別	13-03

平成２９年度［教育委員会事務局］　組織目標

課　名	生　涯　学　習　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	歴史・文化を未来に残す
	項　目	地域の特性を生かした生涯学習の推進	
	内　容	○対馬ならではの「しま」体験活動の実践による地域教育力の向上支援 平成29年7月～8月の間において、長崎県内の離島（対馬、壱岐、五島）３地区で「しまの魅力に出会う交流支援事業」が開催されます。 本市では、7月25日～28日までの4日間、「対馬で　しま大作戦」と題して夏休みの思い出づくり事業を実施します。 島の人々や参加者同士の交流を深めるとともにシーカヤックやツシマヤマネコ、特有な文化、そして対馬の真珠体験等をプログラムに組み込み、対馬の魅力を再認識し、実行委員会を中心として、地域教育力の向上と島の活性化の支援を目指します。	
	指　標（数値目標）	【今年度】 ○ こどもコース（３泊４日） ○ 小学４年生～中学３年生コース　定員：島外40名、島内20名 ○ 高校生・教職員ボランティア　10名 【達成年度】 ○同　上	
	達成時期	平成２９年７月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
実行委員会の開催 関係団体との連携	実行委員会打合せ　関係機関との調整											
募集受付 参加者決定			参加受付									
交流事業準備		取りまとめ・スタッフ打合せ										
交流事業				○								
実行委員会(反省)												

全体	58
個別	13-04

平成２９年度［教育委員会事務局］　組織目標

課　名	文　化　財　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	歴史・文化を未来に残す
	項　目	文化財の保存・活用を図ります。	
	内　容	①　指定文化財の保存整備を継続して実施します。 ②　「金田城築造1350年記念事業」を開催します。	
	指　標（数値目標）	【今年度】 ① 国指定史跡3箇所、県指定史跡1箇所の整備事業に継続して取り組みます。 ② 金田城が築造されてから、今年で1350年の節目の年となります。各種イベントを展開し、市内外に向け情報の発信に努め、貴重な文化財を守り、残し伝えることにつなげていきます。 【達成年度】 ① 史跡保存整備事業完了（今年度実施予定分）　平成30年3月 ② 金田城築造1350年記念事業　平成30年3月	
	達成時期	平成３０年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
指定文化財の保存整備			←									→
金田城築造1350年記念事業				←								→